

釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時 令和元年（2019年）8月27日（火）11:00

発表項目	令和元年度（2019年度）北海道シェイクアウトの実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日 () 時 分	発表場所	
概要	<p>1 趣旨</p> <p>例年、道では、防災の日にあたる9月1日に、地震を想定した防災訓練『北海道シェイクアウト』を実施しており、今年で8回目の実施となります。（今年度は胆振東部地震から1年となる9月6日に実施）</p> <p>シェイクアウトは定められた日時に参加者がそれぞれの場所で地震の揺れから身の安全を守るための基本的な行動を約1分間行うもので、特別な準備は必要なく、時間もかからないシンプルでありながら非常に効果的な訓練です。</p> <p>2 申込状況（令和元年8月23日時点）</p> <p>(1) 全体申込 79,163名</p> <p>(2) 釧路申込 5,985名</p> <p>3 訓練概要</p> <p>(1) 訓練日時 令和元年9月6日（金）10:00～（1分程度）</p> <p>(2) 主催 北海道</p> <p>(3) 協力機関 「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」 （ShakeOutの国内提唱機関）</p> <p>(4) 対象者 北海道在住の個人、団体（自治体、学校、企業等）</p> <p>(5) 参加ルール 参加者は、事前に参加登録の上、訓練日時にそれぞれの場所でおおむね1分程度、①Drop（まず低く）、②Cover（頭を守り）、③Hold On（動かない）とする行動をとります。</p> <p>(6) 参加方法 専用Webサイト（http://www.shakeout.jp/event/hokkaido/）にて、申込みを受け付けます。</p>		
参 考 ※発表のポイントやねらい、経緯等	道庁では、本庁舎、別館庁舎及び各（総合）振興局において、シェイクアウトを実施する予定です。		
報道(取材) に当たって のお願い	地震災害時に自分自身の身を守る行動を取るためには、日頃からの訓練で、実際に行動してみることが大切です。参加登録に向けて幅広いPRをお願いいたします。		
担 当 (連絡先)	釧路総合振興局地域創生部地域政策課 主査 上田 TEL：0154-43-9144（直通）		

THE GREAT HOKKAIDO SHAKEOUT
～防災リテラシーの向上を目指して～

北海道シェイクアウト参加者募集
2019.9.6

シェイクアウトとは、2008年に米国カリフォルニア州で始まった、地震を想定して参加者が一斉に行動するという新しい形の訓練です。参加者はインターネットなどを通じて防災についての知識を深め、同じ日時にそれぞれの場所で一斉に安全行動（安全行動の1-2-3）を行います。2018年には全国で約630万人、北海道では約16万人が参加しました。

詳しくは <http://www.shakeout.jp/event/hokkaido/> へアクセス

(安全行動の1-2-3)



事務局より

北海道シェイクアウトは、道が防災の日に地域住民等と連携した訓練を実施し、地域における防災対策の強化を図ることを目的として実施するものです。

道では、道民の皆様や学校、企業のほか、福祉施設、公共機関、行政機関や町内会などに北海道シェイクアウトへの参加を呼びかけています。

(用語の説明)

防災リテラシー：防災に関する知識や技術を自ら学び活用する能力

～訓練の内容～

日時	令和元年(2019年)9月6日(金)午前10時00分
主催	北海道(事務局:総務部危機対策局危機対策課)
協力	効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議(ShakeOut提唱会議)
対象者	北海道在住の個人及び団体(自治体、学校、企業等)
想定(概要)	令和元年(2019年)9月6日(金)午前10時00分頃、日本海溝・千島海溝周辺海溝型の大規模な地震。
内容	地震による揺れを感じたら(想定)、約1分間、身を守る方法として「Drop(まず低く)Cover(頭を守り)Hold on(動かない)」基本行動を実施してください。 また、基本行動以外に避難、安否確認、情報収集・伝達、人命救助訓練など、その他の自主訓練の計画がある場合は、引き続き実施してください。
参加費・参加方法	1 参加費は、無料です。 2 参加方法は、専用Webサイト(http://www.shakeout.jp/event/hokkaido/) にアクセスし、申込みフォームから登録してください。
募集期間	令和元年(2019年)5月20日(月)から9月5日(木)まで
連絡先	北海道総務部危機対策課 Tel:011-204-5900(直通) Fax:011-231-4314
訓練に向けて	1 北海道危機対策課のホームページ「そのときの備えは十分ですか」等を参考に、安全確保や安全行動等を確認しましょう。 2 参加場所や人数は問いません。普段の生活や業務の中で実施することで、実践的な経験が得られます。 3 実際の地震を想定するためにも、なるべく身近な人に声かけをしていただき、周囲の人と一緒に安全行動をとってください。 4 この機会に、ご家庭、職場等の防災対策を再点検することをお勧めします。